

家庭教育力の強化を図る

家庭・地域・学校の連携を大切にしたPTA活動

江南市立布袋小学校PTA

1 はじめに

本校は、江南市の南部に位置し、今年度創立150周年を迎えた。児童数は817名、学級数は31学級（通常学級25、特別支援学級6）、PTA会員数は、616世帯であり、丹葉地区（江南市・岩倉市・犬山市・丹羽郡）の中でもっとも児童数の多い学校である。家庭や地域の教育への関心は高く、「家庭・地域・学校」が連携して、教育活動に取り組んでいる。



【江南市立布袋小学校】

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校PTAの今年度の活動目標は、「共に学び いつもそばに」である。これには、「PTAが学校の教育活動に積極的に関わり、寄り添う中で、子どもと共に成長していこう」という思いがこめられている。また、コロナ禍での経験を生かし、これまでの活動内容を見直すと共に、持続可能なPTA活動を目指している。

本校には、平成31年度より、学校運営協議会が設置され、本協議会の発案で、学校支援ボランティア団体「布袋小サポーター」（以下、ほてサポと記載）が誕生した。現在86名の会員が所属している。

このことから、本研究を通して、「家庭（PTA）・地域（ほてサポ）・学校」が有機的に連携し、子どもの健やかな成長を目指す。

(2) PTA組織と地域（ほてサポ）との連携

各地区より選出されたPTA委員25名は、役員と4つの委員会（環境・研修・広報・生活）に分かれて活動している。

今年度より、新たにPTA地区委員（通学班担当）を設置し、例年、2、3学期末に行っている通学班会議へ参加したり、通学班での問題点を担当教師と共に改善したりと、連携して子どもを見守っている。

PTAと、ほてサポは協力関係にあり、さまざまな面で教育活動を支援している。

3 実践活動の概要

(1) YouTube 限定配信による「P T A 総会」

本校では、P T A 総会を、コロナ禍のため2年間、書面開催としてきた。しかし、このような状況下でも、よりよい形でP T A 総会を行うことはできないかと、協議を重ねる中で、「YouTube 限定配信」で開催することとした。事前にQ Rコードを記載したP T A 総会要項を配付した。

YouTube 限定配信期間中には、一人一台端末を持ち帰るようにし、個人のスマートフォンだけでなく、子どもと共に一人一台端末でも視聴できるようにした。議事の承認の可否については、緊急メールのアンケートシステムを活用し、自由記述の欄も設けることで、P T A 一人一人の声を集約できるようにした。

保護者からは、「YouTube 限定配信でのP T A 総会は、期間内にいつでも見られるのでよかった」、「今までは参加が難しく、承認も何となくであったが、今回は納得しながら承認ができた」など、好意的な意見が多く見られた。

(2) P T A 地区委員（通学班担当）

文部科学省「学校における働き方改革に関する取組の徹底について（通知）」（平成31年3月18日付）には、「登下校の通学路における見守り活動の日常的・直接的な実施については、基本的には学校・教師の本来的な業務ではなく、地方公共団体や保護者、地域住民など『学校以外が担うべき業務』である」と記されている。

そこで、本校では、今年度より通学班ごとにP T A 地区委員（通学班担当）を決めた。活動内容として、まずは1学



【YouTube 限定配信によるP T A 総会】



【通学班会議に参加するP T A 地区委員】

期に行う通学班会議への参加を依頼した。ここで、担当教師より、通学班の児童に、PTA地区委員（通学班担当）の紹介をした。そして、登下校中に起こる通学班でのトラブルや問題点などを担当教師と共有するようにした。今後も学校とPTAで連携して、子どもの安心・安全な通学班登下校を見守っていききたい。

(3) 登下校の見守り（ほてサポ）・あいさつ運動（PTA）

本校では、毎日の通学班登下校の見守りを、ほてサポにお願いしている。ほてサポ会員の方々は、あいさつだけでなく、子どもへの声かけなど、いつも温かく、子どもと関わってくださっている。

あいさつ運動は、PTA生活委員が中心となり、月に一度、実施している。日程を布袋中学校区（布袋小学校・布袋北小学校・布袋中学校）で調整し、布袋中学校の生徒も校区の小学校へ出向き、PTAと共に参加するなど、小中連携も合わせて、多くの目で通学班の登校の様子を見守っている。



【あいさつ運動】

(4) プール清掃（ほてサポ）

本校では、今年度、3年振りに水泳指導を実施した。例年は、6年生児童がプール清掃を行ってきた。しかし、今年度はプールの汚れが3年間分、蓄積していたことや感染症対策の観点から、児童による清掃は行わず、ほてサポにプール清掃を依頼した。

ほてサポ会員には、地元の水道業者の方もおり、事前に高圧洗浄機などの機材を用いて、壁やプールサイドの清掃などをしていただいた。そのおかげで当日は、ボランティアの教師も含め、和気藹々と効率的にプール清掃に取り組むことができた。



【プール清掃】

(5) 校外学習の講師・引率補助 (ほてサポ)

2年生生活科の町探検の学習や3年生社会科の地域学習など、校外へ出て学習する際に、ほてサポに引率補助や講師を依頼している。担任に加え、ほてサポの引率補助のおかげで、毎回、安全に校外学習に出かけることができている。また、ほてサポ会員には、地域の歴史や仏閣などに詳しい方もいるので、講師をお願いすることもある。専門的な話を子どもにも分かりやすく説明していただけるので、毎回、大変有意義な学習となっている。



【久昌寺での校外学習】

(6) リフレッシュヨガ教室 (PTA)

今年度は3年振りにPTAグループ研修講座を行った。コロナ禍でもできる活動について、PTA研修委員で、協議を重ねた結果、「リフレッシュヨガ教室」を行うこととなった。換気をした上で、一人一人、間隔を空け、活動した。参加者からは、「コロナ禍でも久しぶりに交流ができてよかった」、「毎日、子育てで忙しいが、今日は気持ちのよい汗をかき、リフレッシュすることができた」など、好意的な感想が多かった。



【リフレッシュヨガ教室】

4 おわりに

この2年間、新型コロナウイルスの影響で、多くの教育活動が延期または中止を余儀なくされた。しかし、今年度は、「コロナ禍でも子どものために、できることは何か」という視点で、「家庭・地域・学校」が連携し、共に知恵を出し合い、さまざまな取組を行っている。今後もこの連携を大切にして、子どもの健やかな成長を目指していきたい。